



平成29年7月九州北部豪雨災害からの早期復旧に向けた活動状況

～ 全国のTEC-FORCEが九州に結集し、現場力を活かして全力で支援します ～



国土交通省 九州地方整備局

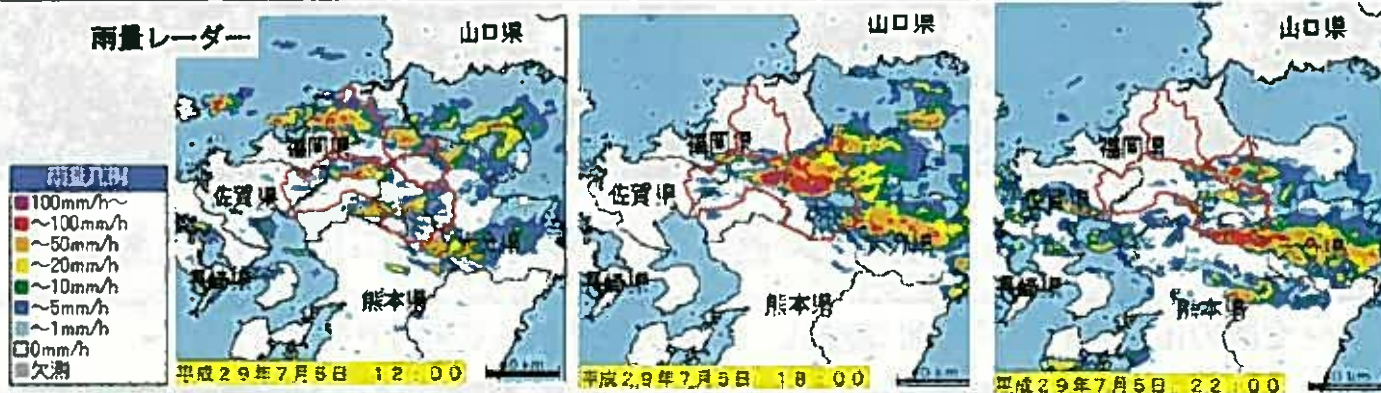
平成29年7月

九州地方整備局
Kyushu Regional Development Bureau

1. 平成29年7月九州北部豪雨 災害概要

平成29年7月出水の概要 (雨量)

○ 7月5日(水)の昼頃から夜にかけて、福岡県から大分県にかけて観測史上最も多い記録的な雨量を観測。日田雨量観測所では、日降水量336mmを記録し、平成24年九州北部豪雨(7/3)の時と比べると、累加雨量は約2倍であった。



平成29年7月出水の概要 (河川水位)

○ 梅雨前線の活発な活動により、九州北部の3水系(遠賀川、筑後川、山国川)において氾濫危険水位を超える洪水が発生し、3観測所において観測史上最高水位を更新。

水位	水系名	河川名	観測所名	今回最高水位(m)	観測史上最高水位	H29.7洪水	
氾濫危険水位超過	遠賀川	彦山川	添田(そえだ)	5.68	7月5日 17:40	3.59(H17.9.6)※H24は欠測	溢水発生
	筑後川	花月川	花月(かげつ)	4.50	7月5日 19:50	4.37(H24.7.14)	溢水発生
	筑後川	筑後川	荒瀬(あらせ)	7.23	7月5日 21:10	7.35(H24.7.14)	
	筑後川	筑後川	片ノ瀬(かたのせ)	10.36	7月5日 22:20	10.07(H24.7.14)	
	筑後川	筑後川	杖立(つえだて)	6.74	7月5日 24:00	9.36(H2.7.2)	
	山国川	山国川	柿坂(かきさか)	6.89	7月5日 20:50	8.41(H24.7.14)	溢水発生



本資料の数値は、通報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

2. 初動対応

記録的な大雨に対して非常体制を発令

- 7月5日（水）福岡県・大分県において記録的な大雨が発生。（整備局管内初の「大雨特別警報」）
- 九州地方整備局 災害対策本部は、7月5日16:50に非常体制を発令しました。



▲ 本省とテレビ会議を開き情報を共有 (7/5 22:30)

平成29年7月5日九州北部豪雨に関する 内閣総理大臣指示 (7/5 18:56)

1. 早急に被害状況を把握すること。
2. 地方自治体とも緊密に連携し、人命を第一に、政府一体となって、被災者の救命・救助等の災害応急対策に全力で取り組むとともに、住民の避難支援等の被害の拡大防止の措置を徹底すること。
3. 国民に対し、避難や大雨・河川・浸水の状況等に関する情報提供を適時的確に行うこと。

今後の対応について国土交通大臣指示 (7/5 18:00)

1. 気象状況及び河川の嚴重な監視と、水防活動に万全を期すこと。
2. 大雨・河川の水位・氾濫等の状況に関する情報について、住民や関係地方公共団体等に対して、適時的確に提供すること。
3. 関係地方公共団体と緊密に連携し、浸水が想定される区域内の住民等の避難が確実に行われるよう、避難支援等の対策に万全を期すこと。
4. 被災後の災害応急対策を迅速に行うための体制を整えること。
5. 関係地方公共団体からの要請を待つことなく積極的に対応するとともに、要請に対しては、迅速かつ全面的に支援すること。

- 7月5日（水）九州北部における記録的な大雨により、福岡県・大分県で甚大な被害が発生。
- 九州地方整備局は、一刻も早い被災状況の把握と災害復旧対策の技術的支援を行うため、朝倉市や東峰村、日田市などにTEC-FORCE（緊急災害対策派遣隊）を派遣。



▲ TEC-FORCE 出発式 (7/6 13:20)



▲ 道路啓開着手前に
被災業者と打合せ (7/6 10:00)



▲ TEC-FORCEが現地へ出発 (7/6 13:30)



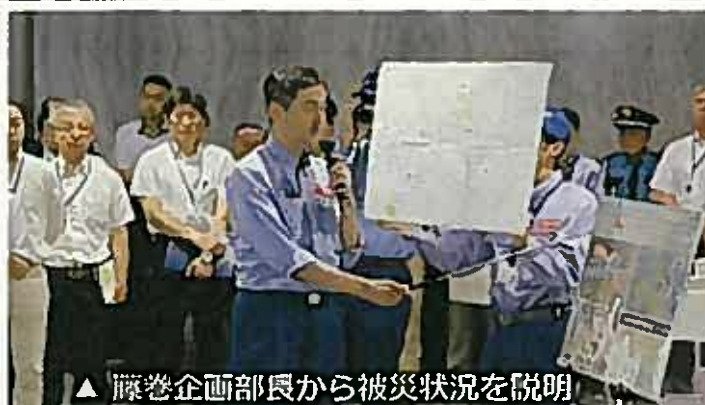
▲ 東峰村の孤立解消に向け
道路啓開を開始 (7/6 10:10)

全国からTEC-FORCEが出発

- H29.7.7（金）全国から九州に集結したTEC-FORCEが、被災状況の迅速な把握や早期復旧に関する技術的な支援を行うため被災地に向け出発。



▲ 全国からTEC-FORCEが九州に集結



▲ 藤巻企画部長から被災状況を説明



▲ 増田局長からTEC-FORCEへの激励



▲ 被災地に向け出発するTEC-FORCE

3. 緊急調査

九州地整が保有する防災ヘリ「はるかぜ」から上空調査①

○ H29.7.6（木）～ 九州地整の防災ヘリ「はるかぜ」で、朝倉市や東峰村などの立入困難な被災現場を定期的に上空から調査し、被災した自治体にリアルタイムで情報を提供。



▲ 九州地方整備局の防災ヘリ「はるかぜ」



▲ 上空から被災状況を確認



▲ 上空から被災箇所を確認・記録



▲ 被災した自治体にリアルタイムで情報を提供

○ H29.7.6 (木)～7 (金) 災害対策用ヘリコプター2機により朝倉市・日田市の上空から調査を実施。河道閉塞・堤防決壊・落橋箇所や孤立地区への進入路を確認。



TEC-FORCEのドローン部隊を投入①

○ H29.7.7 (金) 大分県日田市小野地区で発生した斜面の崩壊を調査するため、九州地方整備局 TEC-FORCEのドローン飛行部隊を現地に派遣。



○ H29.7.13 (木) 国土交通省と福岡県が合同調査チームを結成。TEC-FORCEのドローン部隊を投入し、上空から流木の堆積状況を調査した。



△合同チームで赤谷川等の流木調査を実施



△ドローンの操作監視



△ドローンが離陸し崩壊箇所へ飛行



△流木堆積状況を調査 (朝倉市山田地区)

大分自動車道高山トンネル付近の現地調査

○ H29.7.10 (月) NEXCOからの要請を受け、大分自動車道高山トンネル付近の土砂流出箇所において、TEC-FORCEが現地調査を実施し、安全が確認されたことから通行止め規制が解除されました。



△TEC-FORCEとNEXCOが現地合同調査



△現地踏査にて崩壊規模を把握



△ドローンを活用し、上空から斜面全体を確認



△道路に影響が無いことを確認

○ H29.7.6 (木) 日田市で発生した小野川河道閉塞に伴う土砂災害の技術的助言を行うため、TEC-DOCTOR (水野秀明 九州大学院農学研究院 准教授) による現地調査を実施。調査結果と今後の対応を日田市長と大分県に説明。



▲ 河道閉塞状況の確認



▲ 斜面崩壊状況の確認



▲ 大分県への助言



▲ 日田市長への報告

土砂災害専門家とTEC-FORCEが合同現地調査

○ H29.7.8 (土) 斜面が崩壊した日田市小野地区で、土木研究所の土砂災害専門家とTEC-FORCEが合同で現地調査を行い、日田市長へ報告。



▲ 斜面が崩壊した日田市小野地区



▲ 土砂災害専門家とTEC-FORCEが合同で現地調査



▲ ドローンが撮影する動画で斜面を確認



▲ 調査結果を日田市長へ報告

4. 道路啓開

～孤立地域への支援ルート確保～

通行確保のため啓開作業を開始

○ H29.7.6（木）福岡県からの要請を受け、東峰村へ繋がる国道211号の通行を確保するため、TEC-FORCEが被災箇所の復旧作業を進めました。



○ H29.7.8 (土) 東峰村役場付近の国道211号 (福岡県管理) の道路崩壊箇所において、TEC-FORCEが工事支援を実施し、7月8日に応急復旧を完了。



▲ 宝珠山駅前の道路崩落 (7月6日11:00)



▲ TEC-FORCEによる工事支援



▲ 24時間体制で応急復旧



▲ 応急復旧完了 (7月8日10:00)

国道211号の緊急車両の全線通行を確保

○ H29.7.6 (木) ~ 国道211号の要啓開区間 2.1 kmにおいて、TEC-FORCEが啓開作業を進め、7/14 (金) 13:00から緊急車両の全線通行を確保しました。(7/23に一般車も含めて通行確保)



▲ 国道211号では多数の道路崩壊が発生



▲ 昼夜を問わず応急復旧作業を継続



▲ 7/14 13時より緊急車両の全線通行が可能



▲ 通行確保を誓う瀧谷 東峰村村長

5. 河川災害復旧

～二次被害防止に向けた早期の災害復旧～

緊急復旧工事の完了（花月川（国管理））

- H29.7.14（金）被害のあった筑後川水系花月川等の4箇所は、一刻も早い復旧を目指して24時間体制で緊急的な復旧工事を進め、建設業者の協力を得て7月14日までに全ての工事が完了。



○ H29.7.6 (木) TEC-FORCEが福岡県と合同で、朝倉市を流れる桂川かたがわの越水箇所しなほらと荷原川の堤防決壊箇所の被災状況調査や仮復旧工法を検討。



▲ 朝倉県土整備事務所長との事前打合せ



▲ 福岡県と合同で被災調査



▲ 桂川の越水箇所の被災状況調査



▲ 荷原川の堤防決壊箇所の仮復旧工法の検討

被災を受けた河川の溪流調査に着手

○ H29.7.7 (金) 福岡県からの要請を受け TEC-FORCEが朝倉市内を流れる奈良ヶ谷川なまがたに、白木谷川しろきたに、寒水川さみづなどの溪流調査に着手。



▲ 奈良ヶ谷川の溪流調査に着手



▲ レーザー測器を用いて被災規模を計測



▲ 白木谷川の溪流調査箇所の確認



▲ 福岡県へ溪流調査の結果を報告

○ H29.7.14（金）決壊した荷原川（福岡県管理）の緊急復旧において、TEC-FORCEが調整し、九州地整の工事箇所から復旧資材を手配することで、早期に緊急復旧を完了。



▲ TEC-FORCEによる現地調整（7月7日）



▲ 24時間体制で緊急復旧を実施



▲ 近隣工所より迅速に復旧資材（土砂）を手配



▲ 早期に緊急復旧が完了（7月14日）

6. 災害対策機械を派遣 ～現場の最前線で早期の災害復旧を支援～

○ H29.7.6 (木) ~ 福岡県東峰村では通信障害によりTV放送で気象情報が入手できないことから、衛星通信車を派遣し、レーダ画像情報を提供しました。



▲ 東峰村に衛星通信車を派遣



▲ 衛星携帯電話を設置 ▲ TVアンテナを設置



衛星通信で気象情報を受信し
役場内のモニター等に映像を表示



レーダー画像を写したモニターで
気象情報を確認する東峰村長

全国の散水車が集結し、被災地で路面清掃などに従事

○ H29.7.17 (月) 東峰村からの要請を受け、国土交通省が保有する路面清掃車、散水車を派遣し、道路に堆積した土砂を取り除き、良好な視界と安全な道路通行を確保しています。



▲ 砂埃が舞う国道241号(東峰村)



▲ 路面に堆積した土砂を撤去 (路面清掃車)



▲ 全国の整備局から散水車が集結



▲ 散水車・路面清掃車で砂埃対策

海上に漂流する流木を回収

○ H29.7.6(木)～ 豪雨に伴い有明海・周防灘に流木等が流出し、船舶航行の安全性を損なう恐れがあることから、九州地方整備局の海洋環境整備船3隻による回収作業を実施。



漁業者と連携して浅海域の流木を回収

○ H29.7.23(日) 漁業者(福岡有明海漁業協同組合連合会)及び(一社)埋立浚渫協会と連携し、整備局の調査観測兼清掃船(海輝、海煌)により浅海域の流木を1日で約890本回収しました。



○ H29.8.8(火) 東峰村からの要請を受け、国が保有する散水車で東峰村の学校のプールに川の水を運搬し、約1ヶ月ぶりにプールが再開されました。



▲ プールに水を貯めるTEC-FORCE



▲ 約1ヶ月ぶりにプールが再開された東峰村の学校



▲ 約1ヶ月ぶりのプールに子供達の歓声があがる



▲ 水しぶきにはしゃぐ子供達

7. TEC-FORCEによる調査結果を 自治体へ報告

○ H29.7.7（金）被災自治体の首長などに被災情報の提供や応急復旧に向けた技術支援を行うため、現地で活動するTEC-FORCE・リエゾンを統括する隊長として整備局の幹部職員を派遣。



△ 警察・自衛隊に被災状況を共有



△ 全国から派遣された TEC-FORCEの現地活動を整理



△ 日田市北木建設部長と復旧工法を打合せ



△ 被災状況調査の進捗を東峰村長に説明

TEC-FORCEの調査結果を自治体へ中間報告

○ H29.7.12（水）豪雨災害の発生から1週間、TEC-FORCEから原田啓介 日田市長に甚大な被害が発生した日田市管内の河川や道路の被災調査の中間とりまとめを報告。



△ 日田市定例会議の様子



△ 被災状況の調査結果を説明するTEC-FORCE



△ 調査結果報告書を原田 日田市長に手交



△ 記者からの質問に回答

TEC - FORCEが被災状況調査結果を報告

○ H29.7.18 (火) 自治体からの要請を受け被災状況調査を行ったTEC-FORCEが、調査結果をとりまとめ、日田市長と添田町長に報告しました。



▲ 調査結果を原田 日田市長に説明



▲ 寺西 添田町長から謝辞を受けるTEC隊員



▲ 調査結果報告書を原田 日田市長に手交



▲ 調査結果報告書を寺西 添田町長に手交

TEC - FORCEが被災状況調査結果を報告

○ H29.7.20 (木) 朝倉市、東峰村からの要請を受け被災状況を調査したTEC-FORCEが、調査結果をとりまとめ、朝倉市及び東峰村に報告しました。



▲ 朝倉市長への報告



▲ 東峰村長への報告



▲ 朝倉市長に調査報告書を手交



▲ 東峰村長に調査報告書を手交

8. 改正河川法に基づく 権限代行

赤谷川等復旧工事の権限代行要請

○ H29.7.14（金）小川 洋 福岡県知事が九州地方整備局を訪問され、豪雨被害の迅速な復旧のため、福岡県が管理する赤谷川等の復旧工事を、国により代行することを要請。



全国初の権限代行制度により土砂や流木の撤去を実施

- H29.7.19 (水) 新たに創設した権限代行制度を全国で初めて適用し、九州地方整備局は福岡県に代わって赤谷川などの緊急的な河道の確保に向け、土砂や流木の撤去に着手しました。



9. 建設業界の活躍

○ H29.7.6 (木) ~ 地域の建設業者は、被災地域の一刻も早い復旧のため、過酷な現場環境の中で重機による流木撤去や道路啓開などの復旧作業に全力で当たって頂いています。



▲ 花月川の緊急復旧作業



▲ 重機による流木の撤去



▲ 荷原川の流木撤去作業



▲ 握手をする洲谷栗崎村村長と建設業者

栃木県建設業協会から大型土のう簡易制作機の無償貸与

○ H29.7.20 (木) 栃木県建設業協会から無償で貸与いただいている「大型土のう簡易制作機」により、効率的な大型土のう制作が可能となり、被災現場の早期復旧に貢献しています。



▲ 3機の大型土のう簡易制作機で作業開始



▲ 1袋で2袋の土のうを連続して制作



▲ 短時間で大量に制作された大型土のう



▲ 被災箇所へ迅速に運搬し設置

その他

石井国土交通大臣が復旧工事、道路啓開現場を視察

○ H29.7.9（日）石井 啓一 国土交通大臣は、豪雨で被災した朝倉市、東峰村、日田市の復旧工事や道路啓開の現場を視察したほか、被災自治体の首長と意見交換を行いました。



▲ 被災した花月川の復旧工事を視察



▲ 国道211号（福岡県管理）の道路啓開を視察



▲ 被災地で活動するTEC-FORCEを激励



▲ 被災自治体の首長と意見交換
(大分県知事・日田市長)

○ H29.7.12 (水) 安倍晋三首相が、花月川のJR橋流出箇所の被災状況や東峰村の道路啓開作業、通信確保の取組を視察。



▲被災した花月川JR橋流出箇所を視察



▲筑後川河川事務所長より被災状況の説明



▲TEC-FORCE隊長より復旧状況を説明



▲安倍首相がTEC-FORCE隊員を激励

ホームページやSNSを活用した情報発信

○ H29.7.6 (木) ~ 九州地方整備局では、ホームページやSNS (Facebook,LINE@,YouTube) を積極的に活用して、被災情報や復旧に向けた活動情報を発信しています。

【全国のTEC-FORCEが出發】

北部九州の記録的な豪雨により、福岡県と大分県の各地で河川が氾濫するなど、甚大な被害が生じています。一刻も早く被災地の状況を把握し、早期復旧に向けた支援を行うため、全国から九州に集結しているTEC-FORCEが被災地に向け出發しました。



▲Facebookを活用した情報発信



▲動画(YouTube)を活用した情報発信

国土交通省九州地方整備局

【大規模な斜面崩壊現場にドローンを導入】
一刻も早く被災地の状況を把握するため、7月7日(金)に大分県日田市小野地区に、九州地整TEC-FORCEのドローン飛行部隊を派遣し、被災状況を調査しました。
調査映像は下記サイトにより (YouTube) により映像配信しています。
https://www.kyushu-np.cgo.go.jp/

【有明海・周防灘において、豪雨による洪水を回収中】
北部九州の記録的な豪雨により、有明海・周防灘に多くの洪水が流出しています。
船舶航行の安全性を確保するため、九州地整が持つ浮体回収機3隻により、これまでに洪水約300本、アシ約170m3を回収しています。

▲LINE@を活用した情報発信

期倉市・東峰村周辺通れるマップ

2017年7月9日 日 22:00時点

【お調べ】
被災地周辺は緊急車両・工事車両が多く往來しており、一般の通行は控えてください。

▲被災地周辺の通れるマップをPC公開

